

目 次

〔原 著〕

- | | | |
|-------------------------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 薄層 PAG 等電点分画法による血液(ヘモグロビン)の種属鑑別 | 久留米・医・法医学 | 大島美奈子・井上 徳治.. (71) |
| 2. 潰瘍性大腸炎患者にみられた LDH 結合イムノグロブリン G | 兵庫医大・中 検 | 戸沢 辰雄・藤原弥栄子.. (79) |
| 3. ヒト補体第一成分 C1q, C1r, C1s の精製法とその性状 | 埼玉県立がんセンター
消化器科 | 赤沢 修吾・神田 裕三.. (85) |

〔第32回電気泳動学会総会講演抄録〕

- | | | |
|---|--|---------------------|
| 1. アガロース等電点電気泳動法による LDH isoenzyme の分離について | 岡山大・臨床検査技師学校
岡山大・医・内 科
岡山大・医・中 検
日本ケミファ(株)研 | 唐下 博子・一村 光子.. (93) |
| 2. NAD ⁺ により形成されるヒト LDH サブバンドの研究 | 東京警察病院・中 検
第 1 部 生 化 学 | 平野 哲夫・松崎 廣子.. (94) |
| 3. プラスチック製試験管に採取した血液の血清 LDH 活性上昇について | 岡山済生会総合病院
臨 床 検 査 科 | 白方 隆晴・栃木るり子.. (95) |
| 4. ラット心筋の酵素活性ならびに LDH, CK アイソエンザイムに関する研究 | 大阪医大・病態検査科
大阪医大・第 3 内科 | 林 泰三..... (96) |
| 5. セルロースアセテート膜を用いた CK アイソザイムの測定法 | 虎の門病院・生化学科
冲中成人病研 | 池上 祐子・浅井 孝道.. (97) |
| 6. LDH B variant 赤血球の密度分離による isozyme 分布の解析 | 虎の門病院・臨床化学
冲中成人病研
虎の門病院・循環器科 | 塚田 敦子・中山 年正.. (98) |
| 7. 膿球の LDH isoenzyme | 東京慈恵医大
第 3 分 院 内 科 | 今泉 忠芳・堀口 正晴.. (99) |
| 8. LDH 結合性免疫グロブリンの同定法について | 埼玉がんセンター・臨 検 | 丸山 茂樹・正路喜代美.. (100) |
| 9. SLE 患者にみられた LDH 結合 IgA (lambda) の 1 例 | 兵庫医大・中 検 | 太子 馨・戸沢 辰雄.. (101) |
| 10. 潰瘍性大腸炎患者でみられた LDH anomaly と臨床 | 兵庫医大・中 検 | 藤原弥栄子・戸沢 辰雄.. (102) |
| 11. Fetal および adult ラットアルカリ性フォスファターゼ (ALP) について | 埼玉医大・生 化 学
城西歯大・口腔解剖 1 | 孤田 二一・坂岸 良克.. (103) |
| 12. 界面活性剤を添加したセルロースアセテート膜による alkaline phosphatase isozyme 分析法 | 虎の門病院・生化学科
冲中成人病研 | 塚田 敏彦・塚田 敦子.. (104) |
| 13. 5' Nucleotide phosphodiesterase isozyme の本態および臨床的意義 | 北里大・医・内 科
北里大・生物化学系
北里プリストルラボラトリ | 柴田 久雄・幾世橋 篤.. (105) |
| 14. 臓器 leucine aminopeptidase (LAP) isoenzyme の検討 | 埼玉県立がんセンター
消化器科
金沢大・医・第 1 内科 | 千代 英夫・赤沢 修吾.. (106) |

- | | | |
|---|--|---|
| 15. Affi-Gel Blue および Con A-Sepharose を用いた two-step affinity chromatography による血清 γ -GTP アイソザイムの分離 | 岡山 大・医・第 1 内科
香川 大・保健管理センター | 泉 正樹・長島 秀夫..(107)
武田 和久 |
| 16. IgD 免疫グロブリンに関する研究, 第 2 報 免疫化学物理的性状について | 北里 大・医・臨床病理 | 坂口 和子・大谷 英樹..(108)
上原 一之・斎藤 正行 |
| 17. IgD 型 M-蛋白血症の自験例 58 症例についての考察 | 自治医大・臨床病理 | 河合 忠・桜林郁之介..(109)
高木 皇輝・金 衡仁
伊藤 喜久・野口 英郷
川尻 由子・毛利 邦子 |
| 18. ヒト IgD ⁺ に関する研究, 第 1 報 IgD 精製法の確立と抗血清の作製について | 自治医大・臨床病理 | 荒川 正明・榎本 博光..(110)
伊藤 喜久・桜林郁之介
河合 忠 |
| 19. 骨髄性白血病における尿中免疫グロブリンと免疫グロブリンフラグメントに関する研究 | 鳥取 大・医・第 2 内科
九 大・医 療 短 大 | 森上 泰忠・山田 貞子..(111)
周防 武俊・平山 千里
富永 喜久男 |
| 20. 著明な骨破壊と形質細胞増殖を認めたマクログロブリン血症における異常免疫グロブリンについて | S R L
自治医大・臨床病理
東京女子医大・血液内科 | 星 昭彦・木村 真紀..(112)
毛利 邦子・川尻 由子
桜林郁之介・河合 忠
高橋 正和・溝口 秀昭 |
| 21. 酵素標識プロテイン A による免疫電気泳動沈降物の高感度検出法: α -フェトプロテインの分子多様性研究への応用 | 香川 大・保健管理センター | 武田 和久.....(113) |
| 22. Epstein-Barr virus (EBV) genom 含有および非含有 Burkitt リンパ腫細胞表面免疫グロブリンの検討 | 岡山 大・医・第 1 内科 | 小出 典男・有馬 暉勝..(114)
長島 秀夫 |
| 23. 精漿蛋白質に関する免疫化学的研究
—各種電気泳動像の判読について— | 久留米 大・医・法医学 | 津田 亮一・井上 徳治..(115)
原 三郎 |
| 24. 補体成分 C3, C4 におよぼす amine 化合物の影響 | 埼玉 がん センター
消 化 器 科
Dep. of Biochem. Albert
Einstein Medical College | 赤沢 修吾.....(116)
Sam, Seifter |
| 25. C4 の免疫学的定量法の問題点 | 慶大・医・中検・臨床化学 | 東海林 礼子・大竹 皓子..(117)
松本 宏治郎・加野 象次郎 |
| 26. CRP の血清不活性化前, 後の動態 | 自治医大・臨床病理 | 山岸 安子・榎本 博光..(118)
河合 忠 |
| 27. 親和電気泳動法によるコンカナバリン・A と糖との反応の解析: 各種 pH における結合親和性について | 山口 大・医・第 1 生化学 | 藤本 正憲・竹尾 和典..(119)
桑原 亮 |
| 28. 全自動電気泳動法に出現する β_2 minor band —その同定と分画定量の試み— | 福 島 医 大・中 検 | 尾形 正裕・遠山ゆり子..(120)
本多 信治・三浦 裕
鈴木 孝雄・阿部 和夫 |
| 29. オルトフタルアルデヒド (OPA) による蛍光を利用した濃縮しない髄液中の蛋白質の泳動パターンについて | 杏林 大・保健・生化学
杏林 大・保健・精神衛生科
杏林 大・医・精神神経科 | 平岡 厚.....(121)
三浦 勇夫
村尾 修 |
| 30. 血清ムコ蛋白 (acid soluble glycoproteins: ASP) の新しい測定法とその電気泳動像について | 大塚 ア ッ セ イ 研
小松 島 赤 十 字 病 院
北 里 大・臨床病理 | 中嶋 克行・小平 司..(122)
近清 裕一
大谷 英樹 |
| 31. 蛋白質消化酵素によるヒトアルブミンの fragmentation とヒト特異性の変化 | 岐 阜 大・医・法医学 | 岩佐 峰雄・勾坂 馨..(123) |
| 32. アポ蛋白に関する研究 II —SDS 電気泳動による β -アポ蛋白の分画— | 北里 大・医・臨床病理 | 小出 朝男・船渡 忠男..(124)
上原 一之・大谷 英樹
原 正行 |
| 33. アガロース 2 次元電気泳動の試み | 杏林 大・保健・生化学
杏林 大・保健・精神衛生科
杏林 大・医・精神神経科 | 平岡 厚.....(125)
三浦 勇夫
村尾 修 |
| 34. 2 次元電気泳動法による発癌プロモーターの効果の解析 | 横浜市 大・医・第 1 生理 | 猪俣 君恵・荒井 一二..(126)
井上 宏子・吉岡 亨 |
| 35. マイクロコンピューターを用いた 2 次元電気泳動像の定量的解析法 | 都 老 人 研・生 化 学 | 戸田 年総・藤田 敬子..(127)
大橋 望彦 |

36. 高感度2次元 micro 電気泳動法による脳分泌蛋白質の分析 東京学芸大・生物学 岩瀬三千雄・井上 勤..(128)
37. 肝不全患者血漿蛋白の2次元電気泳動による検討 日本医動態研 小田 治・高木 豊己..(129)
伊与田辰一郎・山中直樹
38. ニジマス血清中のビテロジェニン(卵黄蛋白質前駆物質)の挙動 北大・医・第1生化学 原 彰彦・布村 渉..(130)
平井 秀松
39. *Euhadra* 属の卵白腺および卵蛋白質の分析 東京学芸大・生物学 須田 容子・井上 勤..(131)
40. マウス涙液エステラーゼの性差と特異性について 東北歯大・口診学 松島 芳文・今井 忠治..(132)
自治医大・法医学 池本 卯典
41. 高感度銀染色法を用いた SDS-PAGE の基礎的検討 新潟大・理・化学 橋本ふくみ・上林みゆき..(133)
長谷川和子・堀米 恒好
菅野 浩
42. アガロース等電点電気泳動後の銀染色による各種唾液蛋白 昭和大・歯・第3補綴 芝 輝彦・吉田 二良..(134)
東京医歯大・医・中検 小林久美子
東京医歯大・医・第1生化学 佐野紀代子・長 裕子
中尾 真
43. セルロースアセテート膜2次元蛋白質展開像の彩色銀染色法の試み 都老人研・生化学 藤田 敬子・戸田 年総..(135)
大橋 望彦
44. タンニン酸羊赤血球電気泳動に関する研究, 第9報 東京慈恵医大・第3内科 橋本 信也・揚塩 正樹..(136)
能勢 俊一・堀田 正一
東京慈恵医大・輸血部 小林 敏子・阿部 正和
蓮実 文彦
45. 血清蛋白質の細管電気泳動 都立大・理・化学 小島 清嗣・真鍋 敬..(137)
日赤中央血液センター 奥山 典生
伴野 丞計
46. ウサギの妊娠関連蛋白について 麻布大・獣医・生理第1 松下 博治・西田 利穂..(138)
藤岡富士夫
47. Estrogen による血清蛋白の変動 金沢大・医・産婦人科 橋本 茂.....(139)
金沢大・癌研・分子免疫 右田 俊介
48. 3 β -hydroxysteroid-NAD (P)-oxidoreductase (CDH) による新しいコレステロール分画染色法についての研究 日本ケミファ(株)研 浦田 武義・鈴木 義典..(140)
自治医大・臨床病理 桜林郁之介・河合 忠
49. 前房水産生機構の研究
—眼圧と泳動パターンについて— 昭和大・医・中央化学 飯島 武・門福 強樹..(141)
昭和大・医・眼科 佐藤 永雄
昭和大・藤が丘病院・眼科 吉川十三夫
荻野 総夫
50. Xanthoma tuberosum の電気泳動法による検討 埼玉医大・生化学 長谷川正博・池田 守..(142)
埼玉医大・皮膚科 坂岸 良克
勝見 伸也・斉藤 公子
池田 重雄
51. ヒト関節軟骨, 軟骨腫瘍の glycogen phosphorylase isozyme についての検討 熊本大・医・整形外科 竹野 正幸・北川 敏夫..(143)
山口大・医・第1生化学 山口 和典
52. 新生児生理的黄疸と臍帯血 AFP レベル 兵庫医大・中検 戸沢 辰雄・桑原 純子..(144)
53. アガロース等電点電気泳動法による α -アミラーゼアイソザイムの測定 東邦大・理・生理化学 今井 利夫・赤堀 元規..(145)
千葉大・医・中検 吉田 光孝
降矢 震
54. フェリチンの dimer と monomer について 昭和大・医・生化学 牧野 義彰・金丸 育恵..(146)
鄭 一世・紺野 邦夫
55. IEF-transfer blotting 法による血清 ferritin の heterogeneity の解析 札幌医大・第4内科 石垣 聖史・高橋 文雄..(147)
福島 誠・安達 主税
漆崎 洋一・高後 裕
新津洋司郎・漆崎 一朗
56. Transferrin の heterogeneity に関する研究, 第5報
—酸性領域での鉄解離現象に関する検討— 札幌医大・第4内科 漆崎 洋一・坂牧 純夫..(148)
熊井 園子・高後 裕
新津洋司郎・漆崎 一朗

57. Isogel を使用した等電点電気泳動に関する
検討, 第3報
—平板等電点電気泳動法による TC 分画
pattern の分析—
札幌医大・第4内科 斉藤甲斐之助・寺田省樹..(149)
北海道教育大・家政学 平田健一郎・福田 守道
山田 正二
58. ヒト健常肝および肝癌部の肝細胞特異リポ
蛋白分画の電気泳動上の性状について
岡山大・医・第1内科 有馬 暉勝・小出 典男..(150)
松浦 秀光・下村 宏之
坂口 孝作・渡辺 淳一
森近 茂・福島 正樹
松下 公紀・和田 俊裕
諏訪 文明・長島 秀夫
59. アガロース・ゲル電気泳動法の α , β リポ
蛋白分画
久留米大・病態検査学 谷口 孝治・平原 謙一..(151)
上田 正人・山崎晴一朗
60. 濃度勾配ポリアクリルアミド電気泳動法に
よる HDL 亜分画の検討
九大・医・第3内科 井上 雅公・荏野 哲朗..(152)
古賀 俊逸・井林 博
61. ポリアクリルアミド・ゲル・ディスク電
気泳動により分離した HDL subfraction
(HDL₂ および HDL₃) の健常例における
分布について
岡山大・医・第1内科 池田 敏・長島 秀夫..(153)
香川大・保健管理センター 武田 和久